

コロナ禍でも子供たちへ社会科見学の機会を

NGP、バーチャル工場見学会を開催

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合(佐藤幸雄理事長)は8月20日に、神戸(かんべ)小学校(三重県鈴鹿市)の5年生100名へ向けてバーチャル工場見学会を開催しました。

コロナ禍の影響で社会科見学などの校外活動を取りやめる学校が多く、子どもたちの学習の機会が減少しています。バーチャル工場見学会とは、実際に工場を見学することが難しい子どもたちにも体験を交えた学びを提供したいという考えから、NGPが今年4月から開始した活動です。

神戸小学校へ向けた見学会は、NGP組合員の(株)マーク・コーポレーション(三重県鈴鹿市、向井弘光社長)協力のもと開催しました。同社が毎年受け入れていた工場見学は、新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされました。そのため、バーチャル工場見学の仕組みを活用して「地元の子どもたちに対して教育の場を提供したい」という思いから鈴鹿市の教育委員会に提案したところ、地元の小学校2校が手を挙げ、今回の見学会へとつながりました。

バーチャル工場見学は、(株)マーク・コーポレーションの工場にいる同社担当者



と学校をWEB会議システムで接続し、相互に意見交換ができるようにして、学校の1時限(45分)に合わせて行われました。まず児童たちは、車の引き取りからエアバック・フロンガス・液類などの適正処理、リサイクル部品ができるまでの流れ、鉄やアルミなどの素材の分別について、自動車リサイクルに関するクイズを交えながら学ぶことができる工場見学動画を視聴しました。

また、NGPが使用済み自動車の取扱説明書から作成した「環境教育ノート」を参加者全員に配布するとともに、そのノートができるまでの動画を視聴してもらい、廃棄物の排出抑制や資源循環、アップサイクルの概念を知る機会につなげています。

質疑応答の時間では、「寿命が来た車(廃車)とは、どんな部品が壊れて『寿命が来た』となるの?」、「車が99%リサイクルされていることは素晴らしいけど、残りの1%はどんな部品なの?」、「タイヤはどのようにリサイクルされるの?」、「自動車リサイクルの仕事で、うれしいと感じるのはどんな時?」など、多種多様な質問が寄せられました。バーチャル工場見学が、子どもたちの興味・関心を広げるきっかけとなったようです。

現在、バーチャル工場見学は全国各地から申し込みを受けています。NGPは今後も自動車リサイクル事業を通じて、これからの時代を担う子どもたちへの教育支援活動に取り組んで参ります。



バーチャル工場見学会の様子(神戸小学校)



バーチャル工場見学会の様子((株)マーク・コーポレーション)

新型コロナウイルス感染拡大の影響などを受け、 機械工具の販売実績は前年度比4.4%減の1,063億円に

日本自動車機械工具協会（機工協、柳田昌宏会長）はこのほど、2020年度自動車機械工具販売実績の集計結果を発表しました。それによると、2020年4月～2021年3月の販売実績は1,063億2,547万9千円で、8年連続で1,000億円を超えたものの前年度（1,111億7,105万9千円）と比べると4.4%の減少となりました。

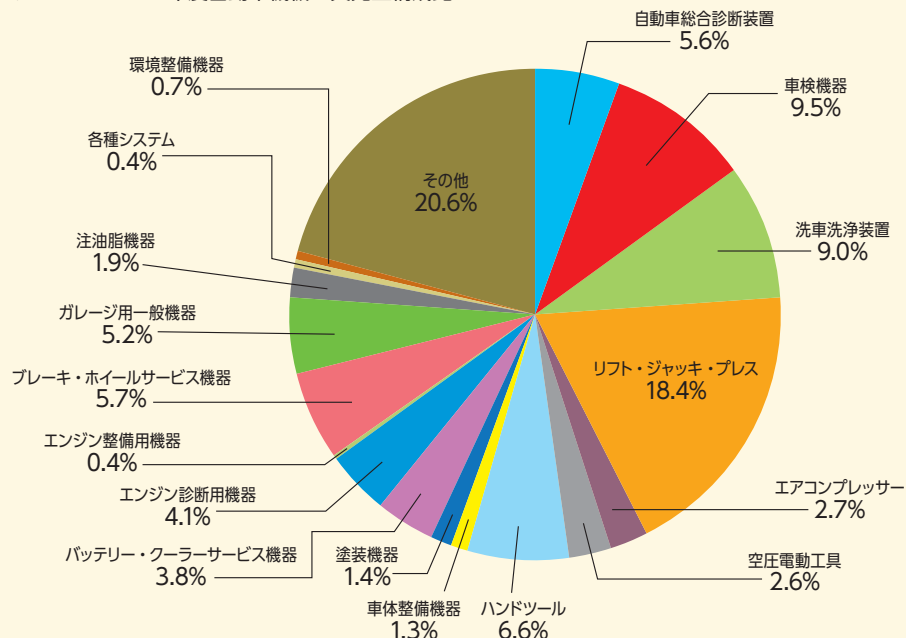
国内販売は対前年度比97.0%と微減にとどまった一方、輸出版売は同51.8%となり、コロナ禍の影響によるロックダウン等で海外案件が滞ったことも全体の実績を押し下げる要因となりました。

項目別に見ると、前年度から増加していたのは洗車洗浄装置（6.5%増）、リフト・ジャッキ・プレス（0.6%増）、バッテリー・クーラーサービス機器（23.6%増）、エンジン診断用機器（30.8%増）で、これら4項目は過去15年間で最高金額でした。

洗車洗浄装置では、門型洗車装置など作業の効率化や環境改善につながる機器が好調でした。バッテリー・クーラーサービス機器では、新冷媒HFO-1234yf対応機器が堅調に推移しています。エンジン診断用機器では、特定整備認証制度関連機器としてスキャンツール（本体）の販売金額が前年度から3億9,733万8千円（15.1%）増加し、30億2,455万円となりました。

統計金額に占める割合（構成比）が大き

グラフ1 2020年度自動車機械工具売上構成比



い6項目を見ると、構成比18.4%のリフト・ジャッキ・プレスと、同9.0%の洗車洗浄装置の2項目は前述の通り前年度から増加した一方で、車検機器（構成比9.5%、対前年度比7.3%減）、ハンドツール（同6.6%、同13.0%減）、ブレーキ・ホイールサービス機器（同5.7%、同3.1%減）、自動車総合診断装置（同5.6%、同17.5%減）の4項目は減少となりました。

各項目の減少理由について機工協は、車

検機器で「コロナ禍の影響による設備計画や大都市圏での店舗統廃合計画の変更・遅延による減少」、ハンドツールで「インターネット販売による影響」、自動車総合診断装置で「自動車技術総合機構や軽自動車検査協会の計画数が谷間であったこと。また、カーメーカー向け機器では、コロナ禍の影響によるロックダウン等で案件の滞りがあった」ことなどが、それぞれ影響しているとの見解を示しています。

表1 2020年度自動車機械工具販売実績

項目	国内販売金額 (千円)	輸出版売金額 (千円)	輸入販売金額 (千円)	合計金額 (千円)	対前年度比 (%)
自動車総合診断装置	4,839,638	1,145,417	2,967	5,988,022	82.5
車検機器	10,026,131	93,003	4,761	10,123,895	92.7
洗車洗浄装置	9,494,771	482	97,945	9,593,198	106.5
リフト・ジャッキ・プレス	19,344,361	41,999	157,441	19,543,801	100.6
(車載用)	1,863	0	0	1,863	69.0
エアコンプレッサー	2,825,661	18	15,591	2,841,270	97.3
空圧電動工具	2,765,457	650	17,850	2,783,957	94.9
ハンドツール	6,670,566	226,113	72,424	6,969,103	87.0
(車載用)	36,100	0	0	36,100	106.2
車体整備機器	1,175,690	473	251,306	1,427,469	94.0
塗装機器	1,202,400	0	241,484	1,443,884	94.4
バッテリー・クーラーサービス機器	3,500,519	1,937	586,029	4,088,485	123.6
エンジン診断用機器	3,943,913	28,450	342,777	4,315,140	130.8
エンジン整備用機器	440,518	6,472	21,304	468,294	59.7
ディーゼル用機器	27,248	22,000	0	49,248	84.3
ブレーキ・ホイールサービス機器	3,997,646	34,530	2,055,768	6,087,944	96.9
(車載用)	26,091	0	0	26,091	-
ガレージ用一般機器	5,234,132	6,993	250,763	5,491,888	93.5
注油脂機器	1,997,633	4,483	17,551	2,019,667	98.9
各種システム	430,593	0	0	430,593	54.3
環境整備機器	610,031	6,638	138,554	755,223	71.1
その他	21,524,233	317,615	62,550	21,904,398	90.8
総 合 計	100,051,141	1,937,273	4,337,065	106,325,479	95.6
(車載用合計)	64,054	0	0	64,054	174.5

新点検基準、10月からスタート

定期点検の点検項目に 「車載式故障診断装置の診断の結果」が加わる

道路運送車両法の改正などに伴い、自動車の点検及び整備に関する手引の一部が改正され、10月より施行されることとなります。

新点検基準では、定期点検の点検項目に「車載式故障診断装置の診断の結果」が追加されました。これにより、電子制御装置を含む対象装置に対し、スキャンツールもしくは警告灯の点灯による点検を行い、異常があった場合には整備及び点検整備記録簿への記載が必要となります。

保安基準適合証を交付するためには、点検基準に従って点検・整備した上で、その適合性を確認する必要があるため、新点検基準施行後は、原則として電子制御装置整備に対応できる認証を取得していない場合は、保安基準適合証を交付することができなくなります（※電子制御装置整備対象車以外に対しては、当面の間は保安基準適合証の交付が可能。また特定整備制度開始時

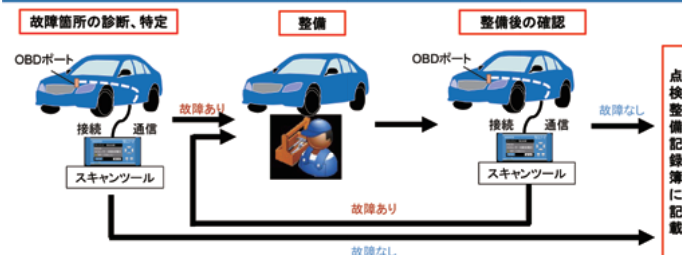
に、エーミング作業等を事業として経営していた場合、経過措置期間中は交付可能）。

さらに2024年からは「運行支援装置」（衝突被害軽減ブレーキやレーンキープ機能など）、「自動運行装置」、「排ガス関係装置」を対象として、保安基準不適合を示す

故障コード「特定DTC」の有無を車検時に確認する、OBD検査制度が開始される予定です。

新点検基準にスムーズに対応するため、該当装置の点検整備方法などを一度確認しておくとの良いのではないのでしょうか。

OBD点検、整備の流れ



診断の対象となる警告灯の目視による点検でも代替可

原動機（異常）の警告灯		側方のエアバッグ（異常）の警告灯	
制動装置（異常）の警告灯		衝突被害軽減制動制御装置に係る警告灯	メーカーごとに異なる警告灯が点灯
アンチロックブレーキシステム（異常）の警告灯		自動急停車機能に係る警告灯	メーカーごとに異なる警告灯が点灯
前方のエアバッグ（異常）の警告灯		自動運行装置に係る警告灯	保安基準の規定ふりを踏まえ検討

資料提供：国土交通省
自動車局整備課

「笑う門には福来たる！ NGP 年末大感謝キャンペーン」開催！！

合計1,000名様に
豪華賞品を
プレゼント！

皆様からのご好評にお応えして、宝くじなどの賞品が抽選で当たる「笑う門には福来たる！ NGP年末大感謝キャンペーン」を、9月1日～11月30日までの3ヵ月間開催致します。

NGPリサイクル部品に貼付されるギャランティシールを3枚集めてご応募いただいた方の中から、抽選で1,000名の方に宝くじなどの賞品

をプレゼントいたします。今回の1等賞品は、宝くじ1,000枚（もしくは30万円相当の商品券）です。

応募用紙は各NGP組員より皆様に配布するほか、当組合Webサイト（<https://www.ngp.gr.jp/campaign/>）からダウンロードすることも可能です。

なお、ギャランティシールに付帯しているベルマークは切り離し、ぜひ地域社会貢献にご活用いただきたくお願い申し上げます。

お一人様何口でもご応募いただけます。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

プレゼント内容

- 1等 「年末ジャンボ宝くじ1,000枚」または「Amazonギフト券300,000円分」または「JCBギフト券300,000円分」＋豊島オリーブオイル50ml（1本）..... 1名様
- 2等 「年末ジャンボ宝くじ100枚」または「Amazonギフト券30,000円分」または「JCBギフト券30,000円分」＋豊島オリーブオイル50ml（1本）..... 5名様
- 3等 「年末ジャンボ宝くじ10枚」または「Amazonギフト券3,000円分」または「JCBギフト券3,000円分」または「豊島オリーブオイルセット3,000円相当」..... 994名様



NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和3年7月： **2,277t**



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和3年7月： **0.5t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む）と115品目を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP 協同組合、 大雨被害の発生を受けて水害対策本部を設置

前線の停滞により、7・8月は全国的に記録的な大雨となり、土砂災害や浸水被害が相次ぎました。

7月の大雨では全国で家屋被害が全壊7棟、半壊59棟、一部破損206棟、床上浸水383棟、床下浸水1,940棟（8月6日時点、内閣府発表）、8月中旬からの大雨では、全壊13棟、半壊13棟、一部破損102棟、床上浸水924棟、床下浸水4,071棟（8月20日時点、内閣府発表）と、広い範囲で甚大な被害を及ぼしています。

被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、尊い命を落とされた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。

これら災害の発生を受けて、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合（佐藤幸雄理事長）は藤原庸正副理事長を本部長とした水害対策本部を8月16日に設置しました。そして8月18日には佐賀県武雄市と福岡県筑紫野市に拠点（ヤード）を設置し、(株)オートパーツ伊地知の伊地知志郎社長をヤード責任者として、23日から被災車両の引き取り作業を本格的に開始しました。

組合員各社がレッカー車や積載車を持ち込んだヤード内では九州支部の組合員

とNGP協同組合本部職員が作業にあたり、提携保険会社などからの依頼を受けてディーラーや修理・整備工場、個人宅へ迅速にお伺いし、被災車両の引き取りを進めています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から次の対策を策定・順守して作業に臨んでいます。

<お客様訪問時の対策>

- ①マスクを着用して訪問します。
- ②消毒用アルコールと除菌ペーパーを携帯します。
- ③面談時、ソーシャルディスタンスを保持します。（最低でも1m以上）
- ④正面で向かい合っただけの会話はなるべく回避します。
- ⑤サイン等をお願いするときは、お客様の目の前でボールペンを消毒し、手渡します。（消毒用アルコールまたは除菌ペーパー等を使用のこと）

※事前にNGPグループの対策を告知し了解を取り付けること。

<ヤード内での対策>

- ①マスクの着用
- ②毎朝の検温
- ③仮設事務所の消毒の徹底



引き取られた被災車両

- ◎事務所内で使用する設備機器・道具類は、常に消毒すること
- ◎朝・昼・晩は、定時に消毒作業を行うこと
- ◎お預かりした書類・鍵も消毒のこと
- ④仮設事務所の三密の回避
- ◎定期的な換気をする
- ◎好天時の打合せは事務所外で実施のこと
- ⑤引取時使用する車両の消毒の徹底
- ◎特に運転席、ドアの取っ手等

さらに参加者は新型コロナウイルスの抗原検査を毎日受け、陰性であることを確認した上で、作業に臨んでいます。

被災地の日も早い復興に協力できるよう、引き続きNGPは復興支援に尽力して参ります。



復興支援活動の様子



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<https://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<https://www.ngp.co.jp/>